日本語

取扱説明書

LED液晶モニタ

本マニュアルをよくお読みの上で装置を操作してください。また、
後で参照できるよう本マニュアルを保管しておいてください。

LED液晶モニタモデル

E2370V

E2770V

www.lg.com

本製品は、お客様の安全を第一に考えて設計し製造されておりますが、間違った使い方をすると感電したり火災を発生させる危険性があります。
安全のため、以下設置、使用、サービスについての基本的な注意事項を必ず守ってください。

使用上の注意

電源コードは、必ず本製品付属のものを使用してください。別の電源コードを使用する場合は、販売店に問い合わせるか、または国内基準を満たしている製品であるかを確認してください。電源コードに不具合がある場合は、メーカーまたは最寄のサービスセンターに連絡し、交換してください。

電源接続器は断路器として使用します。

機器は必ず接続するコンセントのそばに設置し、コンセントが抜き差ししやすいようにしてください。

アース接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行って下さい。又、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行って下さい。

本ディスプレイを使用するに当たっては、この取扱説明書の仕様に記載されている電源、またはディスプレイに記載されている電源を使用してください。使用している電源のタイプがわからない場合は、販売店にお問い合わせください。

一つのコンセントにその容量を超える数の電気製品を接続すると危険です。
また、傷んだコードや破損したプラグも危険です。このような電源コードは感電や火災を起こす危険性があるので、「修理に関するご案内」カードに掲載されているサービスセンターに連絡し、交換してください。

本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

ディスプレイは絶対に分解しないでください。
■ ディスプレイの内部には手を触れないでください。
■ ディスプレイの内部には、電源を切っているときでも危険な高電圧が流れています。
■ ディスプレイが正常に動作しない場合は、販売店に連絡してください。

事故防止のために、以下の注意事項を守ってください。
■ しっかりと固定できる場合を除き、ディスプレイは平らな場所に設置してください。
■ スタンドは必ずメーカーが推奨するものをお使いください。
■ 製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えたりしないでください。画面に物を投げないでください。怪我、故障、破損の原因になります。

火災やの他の危険を防ぐために、以下の注意事項を守ってください。
■ ディスプレイを使用している部屋をしばらく空ける場合には、必ずディスプレイの電源を切ってください。決してディスプレイの電源をオンにしたまま留守にしないでください。
■ ディスプレイのキャビネットの孔から中に物を落としたり押し込んだりしないでください。内部には危険な高電圧が流れている部品があります。
■ このディスプレイ用に設計されている部品以外は使わないでください。
■ 長期間にわたってディスプレイを使用せずに放置する場合は、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
■ 雷が鳴っていたり稲妻が光っている間は、電源コードや信号ケーブルには、絶対に触れないでください。感電する可能性があり、非常に危険です。

設置上の注意

電源コードの上に物を置いたり、電源コードを踏んだりしないようにしてください。
また、電源コードが破損しやすい場所にはディスプレイを設置しないでください。

浴室、洗面所、台所の流し、洗濯機のそば、プールのそばなど、湿気の多い場所ではディスプレイを使用しないでください。
ディスプレイのキャビネットには通風孔があり、使用中に発生した熱を逃がすように設計されています。この通風孔をふさぐと、熱がたまって故障したり、火災の原因となる危険性があります。以下の注意事項は必ずお守りください。

- ディスプレイをベッドやソファー、カーペットなどの上に置いて、下部の通風孔をふさがないでください。
- 適切な通風が確保できないビルトインタイプのラックには、ディスプレイを置かないでください。
- 布などで通風孔を覆ったりしないでください。
- 暖房器具や熱源の上または近くには、ディスプレイを置かないでください。

機器を水滴のかかる場所に置かないこと。
水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないこと。

アクティブマトリックスLCDを堅い物で拭いたり、叩いたりしないでください。
傷が付いたり、破損したりする場合があります。

LCD画面に指を強く押し付けたりしないでください。残像が生じる原因になる場合があります。

画面に赤色、緑色、または青色の点が表示される場合があります。これは、ドットの欠陥によるもので、製品の性能には影響しません。

推奨する解像度をご使用になると、LCD画面は最高の画質が得られます。推奨する解像度以外をご使用になると、画像の大きさなどが調整されて表示される場合があります。これは、固定解像度のLCDパネルが持つ特性によるものです。

動きのない画像を長時間表示したままにすると、画面が損傷し、画像の焼き付きが生じる可能性があります。ディスプレイでは必ずスクリーンセーバーを使用してください。この現象は、他の製造元による製品でも同様に生じることがあり、製品保証の対象にはなりません。

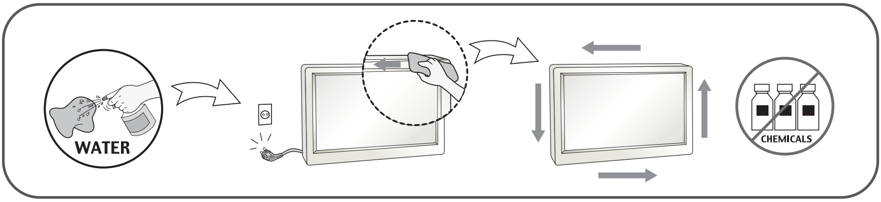
スクリーンの前面や側面を金属で傷つけたり、衝撃を与えたりしないでください。
傷をつけたり衝撃を与えたりすると、スクリーンが破損する恐れがあります。

パネルが前向きになっていることを確認し、両手で持ちながら動かしてください。
製品を落下させると、製品が破損し、感電や火災の原因となる場合があります。
修理をご希望の場合は、弊社サービスセンターまでご連絡ください。

高温・高湿は避けてください。

お手入れのしかた

■ パネル面の汚れを取るときは、ディスプレイの電源コードを抜いてください。
■ ディスプレイを拭くときは、軽く湿らせた(十分に水気を切った)布で拭いてください。スプレー式の洗浄液を直接パネル面に吹きかけたりしないでください。液をかけすぎると、感電する可能性があります。
■ 製品のお手入れをするときは、電源コードを抜き、傷を防ぐため、やわらかい布で拭いてください。お手入れのときには、ぬれた布を使用しないでください。また、噴霧器の水または他の液体を製品に直接吹きかけないでください。 感電するおそれがあります。(ベンゼン、ペイント用のシンナー、アルコール等の化学薬品を使用しないでください)
■ 柔らかい布に水を2～4回吹き付け、フレーム前面を拭いてください。一方向のみに拭くようにしてください。水分が多すぎると、シミの原因となります。



再梱包

■ 外箱と梱包材は、ディスプレイを輸送するときに必要になりますので、捨てないでください。ディスプレイを別の場所へ輸送するときには、購入時の外箱と梱包材を使用して梱包しなおしてください。

安全に廃棄するために
(液晶ディスプレイで使われている水銀灯について)

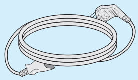
■ 本製品で使用されている蛍光ランプには、少量の水銀が含まれています。
■ 本製品を一般の家庭ゴミといっしょに廃棄しないでください。
■ 本製品の廃棄は、お住まいの地域の法令に従って行ってください。

付属品

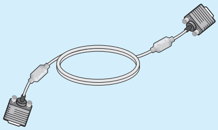
ご購入いただいたディスプレイに、下記の付属品が含まれているか、ご確認ください。不足しているものがある場合には、販売店までご連絡ください。



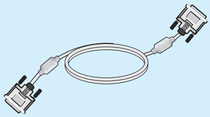
ユーザーズガイド/
ユーザーズカード



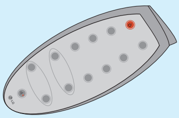
電源コード
（使用する国によって異なります。）



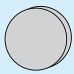
15-ピン D-sub 信号ケーブル



DVI-D 信号ケーブル
（この機能は、一部の国では使用できません。）



リモートコントロール



Primary Cell Battery, Lithium

注意

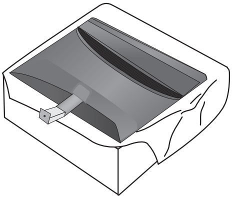
- この付属品の外観は、ここで示された形状と異なることがあります。
- ディスプレイの規格遵守には、フェライトコア付き信号インターフェースシールドケーブル（D－SUB15ピンケーブル、DVIケーブル）を使用する必要があります。

ディスプレイの接続

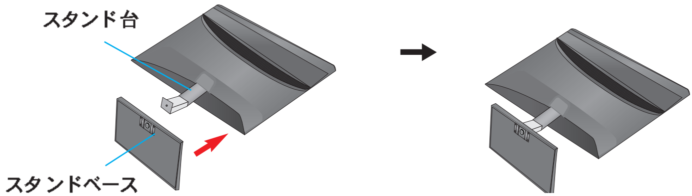
ディスプレイを設置する前に、ディスプレイ、コンピューター、およびその他の付属装置の電源がオフになっていることを確認して下さい。

スタンドの取付

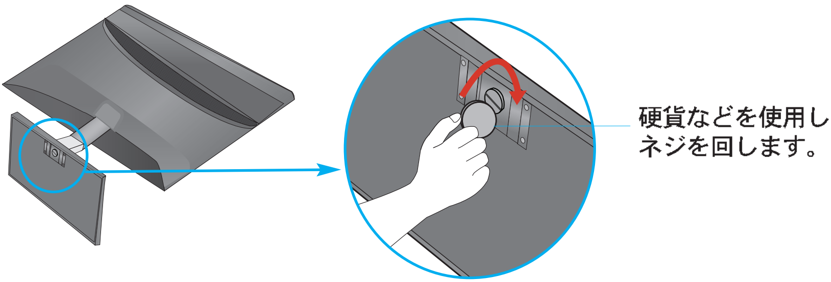
1. ディスプレイの前面をクッションなどの柔らかい布の上に載せます。



2. スタンド ベースを、図に示されている正しい方向からスタンド本体に組み込みます。



3. スタンドベースの下部分で硬貨などを使用しネジを時計回りに回して締めます。



4. 取り付けたら、注意しながらディスプレイを持ち上げて表側を正面にします。



- ネジを左に回して、スタンドベースからモニターを外します。



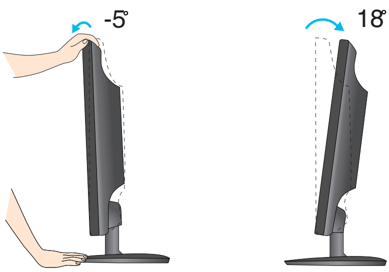
重要
- ■ この図は、接続の一般的なモデルを表しています。ご使用のディスプレイは、この図と異なる場合があります。
- ■ 持ち運ぶ際には、ディスプレイを上下逆にしてスタンドベースだけを持って運ばないようにして下さい。ディスプレイが落下して破損したり、足を痛めたりする場合があります。

ディスプレイを設置する前に、ディスプレイ、コンピューター、およびその他の周辺機器の電源がオフになっていることを確認して下さい。

ディスプレイの設置

最も快適に使用できるようにディスプレイの位置を調節します。

■ 傾斜角度：-5 - 18 度





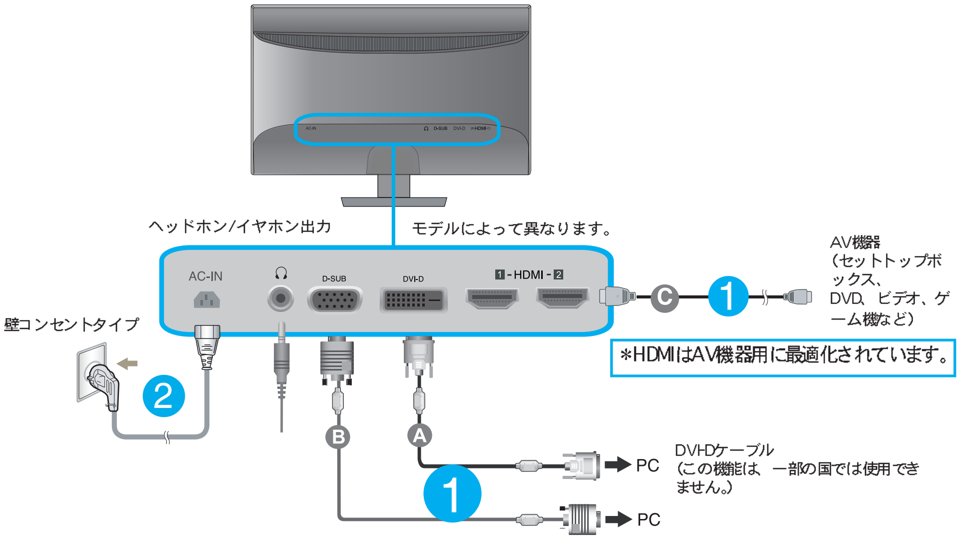
人間工学上の注意
- ■ ディスプレイの傾斜角度-5~20度ですが、人間工学的にも快適な使用のためにも、ディスプレイの傾斜角度が 5 度をこえないようにすることをお勧めします。
- ■ ディスプレイの角度を調整するときに、スクリーンに触れたり押したりしないでください。

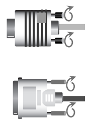
パソコン/AV機器との接続

1. ディスプレイを設定する前に、ディスプレイ、コンピューター、その他の接続機器の電源がオフになっていることを確認してください。
2. 信号ケーブル①、電源ケーブル②の順に接続し、信号ケーブルのねじを締めます(図を参照)。

Ⓐ DVI-D (デジタル信号) ケーブルを接続
Ⓑ D-Sub (アナログ信号) ケーブルを接続
Ⓒ HDMI ケーブルを接続

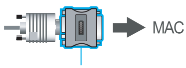
注意
- この図は、ディスプレイの背面を簡単に表しています。
- この図は、一般的なモデルを表しており、ご使用のディスプレイとは異なる場合があります。





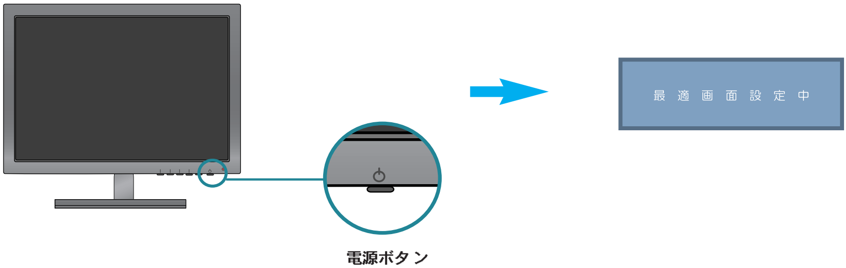
信号入力ケーブルを接続し、図の矢印の方向にネジを締めてください。

Mac用D-Sub信号入力ケーブルコネクタを接続する場合



Macアダプタ
Apple Macintoshをご利用の場合は、提供されたケーブルの15ピン高密度(3列)の D-sub VGAコネクタを15ピン2列のコネクタに変換するための特別なプラグアダプタが必要です。

3. モニター右下の電源ボタンを押して電源をオンにします。 ディスプレイの電源が入ると‘自動画像設定機能’が実行されます。
(D - Sub入力のみ)



注意

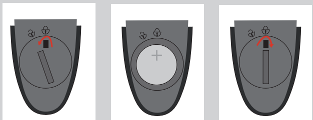
- 「自動画像設定機能」とは？：この機能はオプションのディスプレイ設定を提供します。ディスプレイを初めて接続したときに、この機能が自動的に動作して個々の入力信号に応じた最適のオプション設定にディスプレイを調節します。
- 「AUTO機能」とは？：デバイスの使用中あるいは画面の解像度を変更後に、画面や文字がぼやけたり、画面がちらついたり、歪んだりするなどの問題が生じたら、この「AUTO」ボタンを押すと解像度が改善されます。

リモートコントロール制御



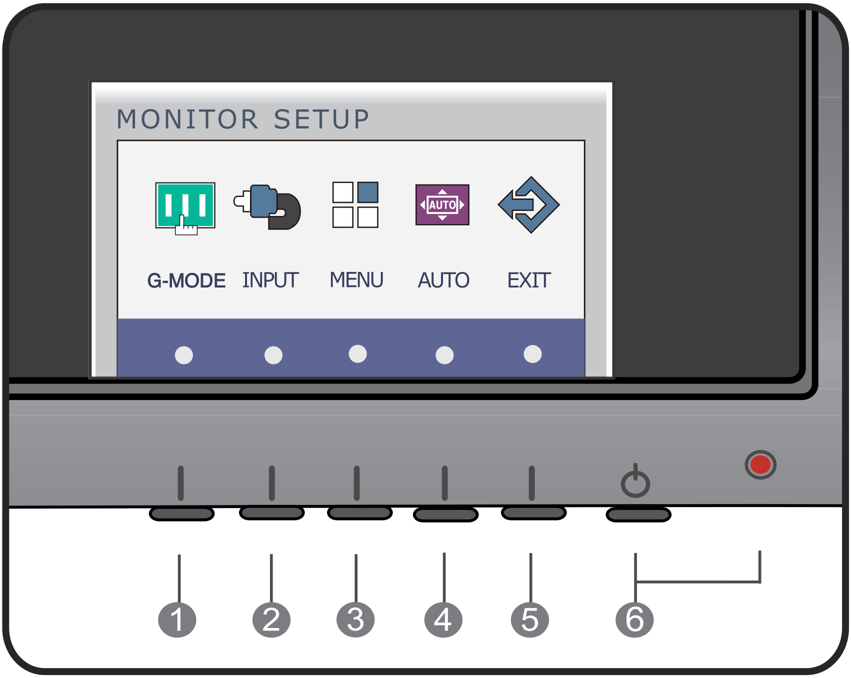
⏻ ボタン	ディスプレイのオンまたはオフを行います。
入力ボタン	入力信号を選択します。(D-SUB/DVI-D/HDMI1/HDMI2)
ユーザーモードボタン	ユーザーモードを選択します。
Aspect Ratio ボタン	アスペクト比の調整に使用します。
Thru Mode ボタン	フレームバッファを使用せずに映像表示の遅れを抑えます。
SUPER+ Res. ボタン	超解像処理の調整（NORMAL、弱、中、強）に使用します。
PIP ボタン	このボタンでPIP機能を選択します。
Swap ボタン	メイン画面とサブ画面を入れ替えて表示させます。
明るさボタン	画面の輝度を調整する際に使用します。
ボリュームボタン	音量を調整します。(HDMI入力用)
🔇 ボタン	音声を一時的に消します。(HDMI入力用)

リモートコントロールバッテリーの交換

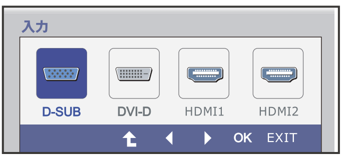


1. バッテリーカバーを外します。
2. バッテリー（CR2032 3V）を+面を上にして交換します。
3. バッテリーカバーを閉じます。
   *硬貨などを使ってバッテリーカバーの開閉を行います。

フロントパネルのコントロール



❶	G-MODE ボタン	[ユーザーモード]、[THRU MODE]、[SUPER+ RESOLUTION]、 [画面サイズ]、[自動輝度]モードに入るには、このボタンを使用します。 詳細については、15~20 ページを参照してください。
❷	INPUT ボタン (入力信号選択ホットキー)	2つの入力信号に接続している場合は，希望する入力信号(D-SUB/DVI-D/HDMI1/HDMI2)を選択できます。 １つしか信号を接続していない場合は自動的に決定します。 デフォルト設定値はD-Sub です。



③ MENU ボタン

このボタンはオンスクリーンディスプレイ(OSD)の起動や終了に使用します。





＜OSDのロック／ロック解除＞

この機能により現在のコントロールの設定をロックできるため、不注意に変更してしまうことがなくなります。
MENU(メニュー)ボタンを数秒間押し続けます。“OSDロック”(OSDがロックされています)というメッセージが表示されます。
MENU(メニュー)ボタンを数秒間押し続けると、ロックを解除できます。その際に‘OSDロック解除”(OSDがアンロックされています)というメッセージが表示されます。

④ AUTO ボタン

＜自動画像調整＞



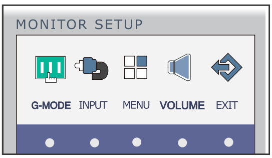
表示設定を調整する場合は、まず AUTO/SET ボタンを押してから、オンスクリーンディスプレイを起動してください。(アナログモードのみ)
これにより、表示画像が現在の画面解像度(ディスプレイモード)に合う最適な設定に自動調整されます。

最良の表示モードは以下の設定です。

1920 x1080

VOLUME ボタン

ヘッドホン/イヤホンの音量を調整します。
(HDMIモードのみ)



⑤ EXIT ボタン

OSD(オンスクリーンディスプレイ)を終了します。

⑥ 電源ボタンと電源インジケーター

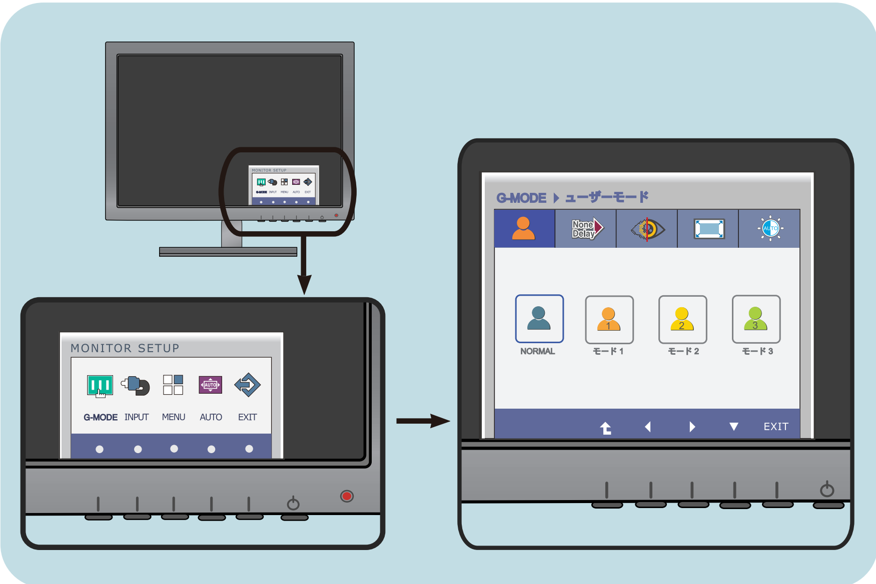
ディスプレイの電源のオン／オフに使用します。

電源インジケーターは、ディスプレイが正しく作動していれば常に赤色に点灯します（オンモード)。ディスプレイがスリープモード（節電）の場合は、電源インジケーターは赤色で点滅します。

画面の調整

ディスプレイの画像の大きさ、位置、動作パラメーターの調整は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)コントロールシステムを使用して、簡単に行うことができます。以下に各コントロールの使い方について説明します。次のページの表は、OSDを使用して実行できる選択と調整について簡単に説明しています。

OSDによる調整は、次の手順で行います。



1 任意のボタンを押すと、OSDのメインメニューが表示されます。(電源ボタンを除く)

2 それぞれの調整機能にアクセスするには、各機能に対応したボタンを使用します。

3 ◀/▶ ボタンを使用して、表示画質を希望するレベルに調節してください。

4 ▼ ボタンを使うと、他のサブメニュー項目を選択できます。EXITボタンを押すと、OSDを終了します。

次の表は、OSDを使用して実行できるコントロール、調整、および設定のメニューを簡単に表したものです。

D-SUB : D-SUB (アナログ信号) 入力
DVI-D : DVI-D (デジタル信号) 入力
HDMI : HDMI 信号

メインメニュー	サブメニュー	サポート対象の入力	説　明
G-MODE	ユーザーモード	D-SUB DVI-D HDMI	このメニューでユーザーモードを選択します。
	THRU MODE		フレームバッファを使用せずに、映像表示の遅れを抑えます。
	SUPER+ RESOLUTION		拡大による画質の劣化（焦点のぼやけ、輪郭のぼやけ）を最小限に抑える画像改善技術により、画像を拡大しても解像度は低下せず、クリアな画質を提供します。
	画面サイズ		このメニューを使用して画面に表示された画像のアスペクト比を調整します。
	自動輝度		このメニューで画面の明るさを自動的に調整します。
INPUT	D-SUB DVI-D HDMI 1 HDMI 2	DSUB DVI-D HDMI	このボタンで入力信号を選択します。 (D-SUB/DVI-D/HDMI1/HDMI2)
PICTURE	明るさ コントラスト 画質	D-SUB DVI-D HDMI	このメニューで画面の明るさ、コントラスト、シャープネス、オフセットレベルを調整します。
	BLACK LEVEL	HDMI	
カラー	色温度 (プリセット) sRGB WARM MEDIUM COOL (ユーザー) 赤 緑 青	D-SUB DVI-D HDMI	画面の色モードを調整します。
	GAMMA		
	色相 色飽和度	HDMI	
	カラーリセット	D-SUB DVI-D HDMI	

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

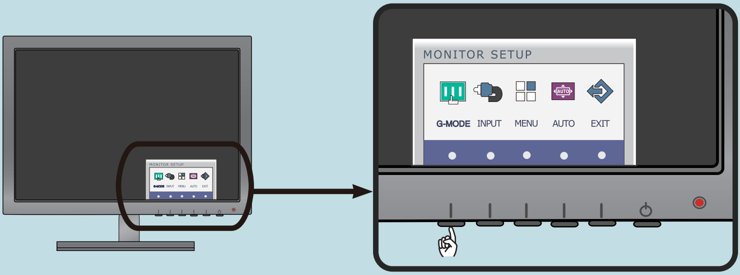
表示	水平 垂直	D-SUB	スクリーンの位置を調節します。
	周波数 フェーズ	D-SUB	スクリーンの明瞭度と安定度を改善します。
	OVERSCAN	HDMI	このメニューを使用して画像を画面全体に表示し、HDMI入力動画信号の端のノイズを除去します。
その他	言語	D-SUB DVI-D HDMI	このメニューでユーザープリファレンスや画像オプションを設定します。
	ホワイト　バランス	D-SUB	
	電源インジケーター リセット	D-SUB DVI-D HDMI	
PIP	PIP オン / オフ サブ画面入力 PIP 位置 PIP SWAP	D-SUB DVI-D HDMI	PIP機能の調整を行います。
	PIP 音声 PIP ボリューム	HDMI	

注意

■ アイコンの順序は、モデルによって異なります(13～28 ページ)。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

OSDによる選択と調整の手順について説明します。前のページで説明した各項目のメニュー名、アイコンは次の図のように表示されます。



G-MODEボタンを押すと、OSDのメインメニューが 表示されます。



- ⬆ : 前のメニューへ移動
- ◀ ▶ : 調節(減少/増加)
- ▼ : 他のサブメニュー選択
- EXIT : 終了

ボタン
の説明

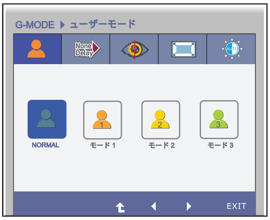
注意

■ディスプレイ上に表示されるOSDメニューの言語は、本ユーザーズガイドの表記と異なることがあります。

このメニューでは、明るさ、SUPER+ RESOLUTION、画像の画面サイズ等、ユーザーのお好みに合わせて簡単に設定することができます。

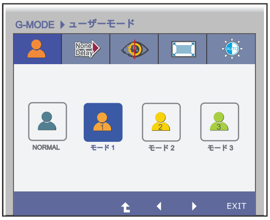
メインメニュー	サブメニュー	説　明

ユーザーモード



NORMAL

以下はデフォルト設定です。
画面サイズ（フル)、
SUPER+ RESOLUTION（ノーマル)、
明るさ（100)



モード 1
モード 2
モード 3

ユーザーモードでモード1を選択し、画面サイズ、SUPER+ RESOLUTION、明るさをユーザーのお好みで設定した場合、設定はモード1で保存されます。
同様にモード2、モード3でもお好みの設定を保存できます。

- ⮤ ：前のメニューへ移動
- ◀, ▶ ：移動
- **EXIT** ：終了

* 表は、各ユーザーモードの3つのメニューで使用できる設定を示しています。

ユーザーモード	画面サイズ	SUPER+ RESOLUTION	明るさ	補足
NORMAL	フル/オリジナル/1:1	NORMAL/弱/中/強	0 ~ 100	明るさ、SUPER+ RESOLUTION、画面画面サイズは、ユーザーのお好みに合わせてカスタマイズ可能です。
モード 1	フル/オリジナル/1:1	NORMAL/弱/中/強	0 ~ 100	
モード 2	フル/オリジナル/1:1	NORMAL/弱/中/強	0 ~ 100	
モード 3	フル/オリジナル/1:1	NORMAL/弱/中/強	0 ~ 100	

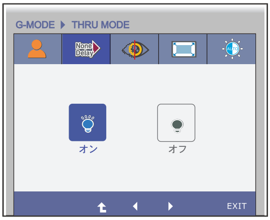
UCC動画表示、ゲーム、インターネットサーフィン等、お好みに合わせて画面サイズ、SUPER+ RESOLUTION、明るさメニューを設定した場合、モードを変えるだけで3つのメニューから設定を簡単に変えることができます。

* モード1、モード2、モード3の設定は、ユーザーが変更しない限り、リセット後も変更されません。
* 全般モードでカスタマイズした設定を保存することができます。
ただし、設定は、リセット後に工場出荷時の初期設定に変わります。

メインメニュー	サブメニュー	説　明

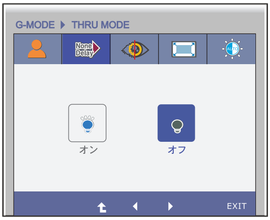


THRU MODE



オン

フレームバッファを使用せずに、映像表示の遅れを抑えます。
THRU MODEをオンまたはオフにすると画面が点滅します。



オフ

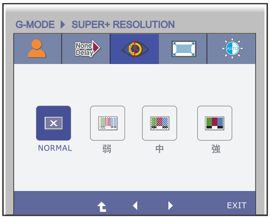
フレームバッファが使用されます。

- ⮤ ：前のメニューへ移動
- ◀ , ▶ ：移動
- **EXIT** ：終了

*PIP、画面縦横比、およびHDMIビデオ信号入力には、フレームバッファーを使用する必要があります。
（スルーモードオフ）
この機能は、スルー モード オンの場合は使用できません。

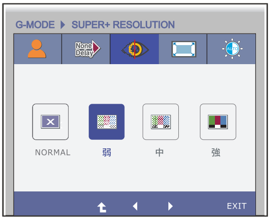
メインメニュー	サブメニュー	説　明

SUPER+ RESOLUTION



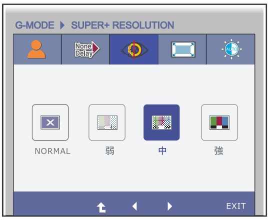
NORMAL

一般的な文章やテキスト環境の多いウェブサイトなどに適しています。超解像技術がオフになります。



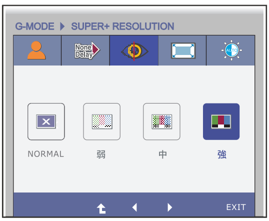
弱

元々の解像度が高い映像コンテンツに適しており、やわらかく全体に超解像技術をかけます。



中

元々の解像度が中程度の映像コンテンツに適しています。DVDやSDレベルのコンテンツなどに効果的です。



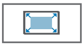
強

解像感をより一層高める設定です。解像度が低い場合やアニメーションなどに適しています。

- ⬆ ：前のメニューへ移動
- ◀ , ▶ ：移動
- **EXIT** ：終了

*LGの超解像モードは、入力する映像コンテンツにより、弱・中・強の中からお好みのモードを選ぶことができます。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

メインメニュー	サブメニュー	説　明
 **画面サイズ**		
	**フル**	画像は全画面サイズで表示されます。
	**オリジナル**	画像は入力解像度を画面サイズ調整して表示されます。入力解像度が640 x 480の場合、画像は4:3の比率を保って画面サイズ調整されます。
	1:1	画像は入力の解像度に従って表示されます。画面サイズ調整は行われません。入力の解像度が640 x 480の場合、サイズが1920 x 1080のパネルでも画像は640 x 480のサイズで表示されます。

- ⬆ :前のメニューへ移動
- ◀ , ▶ :移動
- **EXIT** :終了

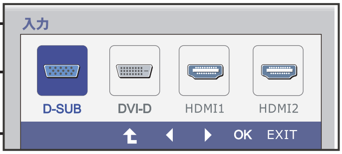
メインメニュー	サブメニュー	説　明
 **自動輝度**		
	**オン**	これを選択して明るさを自動的に調整します。 オンに設定すると、ライトセンサーを使って明るさが自動的に調整されます。周りの明るさや入力データによって、バックライトを調整して画面の明るさが調整され、最適な画像を実現します。
	**オフ**	自動輝度調節機能がオフになります。

- ⮤ ：前のメニューへ移動
- ◀ , ▶ ：移動
- **EXIT** ：終了

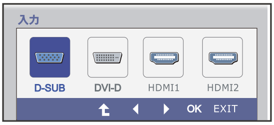
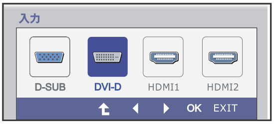
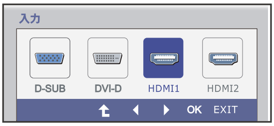
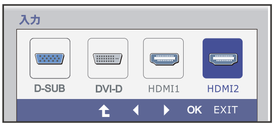
オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

■■■ モニター前の**INPUT**[入力]ボタンを押すとOSD画面が表示されます。

メニュー名
アイコン
ボタンの説明

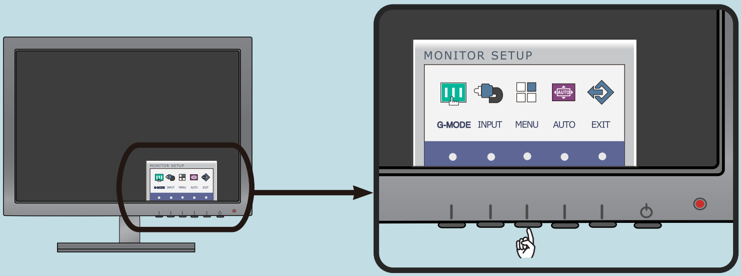


- ⮅ ：前のメニューへ移動
- ◀ , ▶ ：移動
- **OK** ：メニューの選択
- **EXIT** ：終了

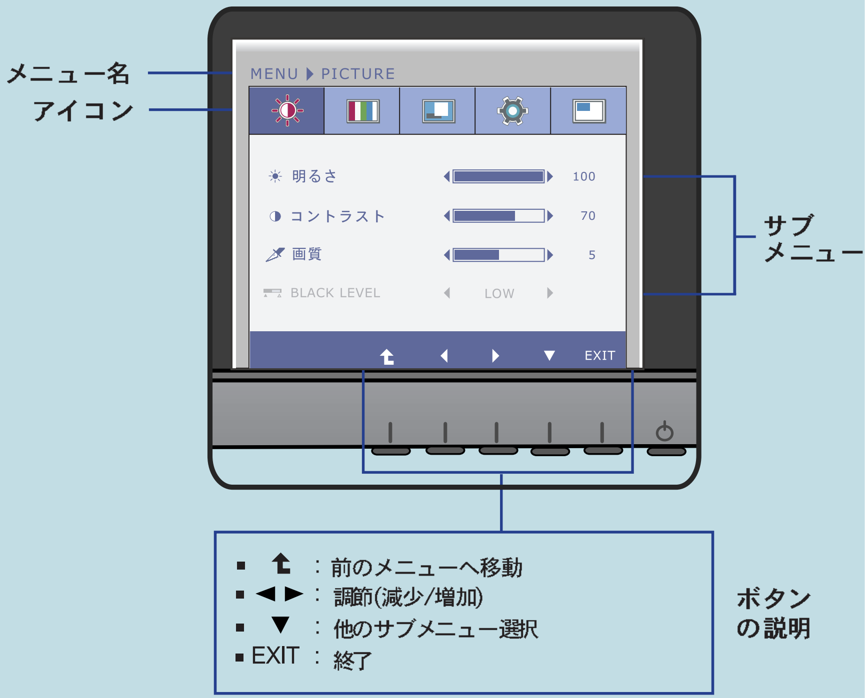
メインメニュー	サブメニュー	説　明
	**D-SUB**	映像信号をアナログ形式で入力します。D−サブケーブル15ピンを接続しD-SUBを選択します。
	**DVI-D**	映像信号をデジタル形式で入力します。DVI-Dケーブルを接続しDVI-Dを選択します。
	**HDMI 1**	映像と音声信号をデジタル形式で入力します。HDMIケーブルを接続し、HDMIを選択します。
	**HDMI 2**	

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

OSDによる選択と調整の手順について説明します。前ページの表に示した各項目のメニュー名、アイコンは次の図のように表示されます。



MENUボタンを押すと、OSDのメインメニューが 表示されます。



注意

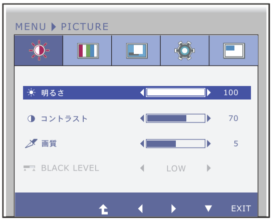
■ディスプレイ上に表示されるOSDメニューの言語は、本ユーザーズガイドの表記と異なることがあります。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

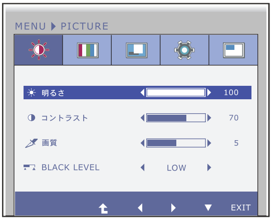
メインメニュー	サブメニュー	説　明

PICTURE

D-SUB/DVI-D 入力



HDMI 入力



サブメニュー	説明
明るさ	画面の明るさを調整します。
コントラスト	画面のコントラストを調整します。
画　　質	画面の鮮明度を調整します。
BLACK LEVEL	オフセットの水準を設定します。「高」を選択すると画面が明るくなり、「低」を選択すると画面は暗くなります。(HDMI入力のみ) *オフセットとは？映像信号の基準で、ディスプレイが表示できる最も暗い画面です。

- ↰ : 前のメニューへ移動
- ◀ : 減少
- ▶ : 増加
- ▼ : 他のサブメニュー選択
- **EXIT** : 終了

メインメニュー	サブメニュー	説　明



カラー

プリセット モード



ユーザーモード



D-SUB/DVI-D 入力



HDMI 入力



色温度　プリセット 或いはユーザー設定を選んでスクリーンの色を調整する。

プリセット　画面の色を選択します。
- sRGB: 画面の色を sRGB標準色規格に合わせるように設定します。
- 色温度を、COOL、MEDIUM、WARM から選択できます。

ユーザー
- 赤
- 緑
- 青

色温度が高くなると画面は赤っぽく表示され、色温度が低くなると画面は青っぽく表示されます。(WARM<MEDIUM<COOL の順に、色温度が高くなります。)
赤色、緑色、青色を使用して画像の色をカスタマイズできます。

GAMMA　1/2/3でガンマ値を調整します。ディスプレイの表示画像は、高ガンマ値に設定すると薄く、低ガンマ値に設定すると濃くなります。

色相　色相レベルを設定します。(HDMI入力のみ)

色飽和度　色飽和度を設定します。(HDMI入力のみ)

* このオプションは、YUVカラー形式のHDMI信号入力のみに使用できます。

カラーリセット　カラー設定を工場出荷時設定に戻します。

- ↑ : 前のメニューへ移動
- ◀ : 減少
- ▶ : 増加
- ▼ : 他のサブメニュー選択
- **EXIT** : 終了

メインメニュー	サブメニュー	説　明

表示

D-SUB 入力



HDMI 入力



サブメニュー	説　明
水　平	画像を左右に移動させます。
垂　直	画像を上下に移動させます。
周 波 数	画面のバックグラウンドに表示できるすべての垂直バーまたは垂直ストライプを最小化します。水平画面のサイズも変更されます。
フェーズ	画面の焦点を調整します。この機能は、水平ノイズを取り除いて、文字画像を鮮明にします。
OVERSCAN	HDMIで外部装置と接続した際に、画像の端に発生するノイズをフィルター除去する機能です。この設定をオンにすると、オリジナルの画像がノイズなしで拡大されます。この設定をオフにすると、ノイズを無視してオリジナルのサイズで表示します。(HDMI入力のみ)

- ⮥ : 前のメニューへ移動
- ◀ : 減少
- ▶ : 増加
- ▼ : 他のサブメニュー選択
- **EXIT** : 終了

メインメニュー	サブメニュー	説　明

その他

D-SUB 入力



HDMI/DVI-D 入力



- ⮤ : 前のメニューへ移動
- ◀ : 減少
- ▶ : 増加
- ▼ : 他のサブメニュー選択
- **EXIT** : 終了

言　語

コントロール名を表示する言語を選択します。

ホワイトバランス

ビデオ・カード出力が本製品の仕様と異なる場合、ビデオ信号に歪みが生じてカラー・レベルが低下する可能性があります。この機能を用いると、ビデオ・カードが標準出力レベルに合うように信号レベルが調節され、最適画像が得られます。
スクリーンに白色や黒色が出る場合は、この機能を動作させてください。

電源インジケーター

この機能は、ディスプレイの前面にある 電源インジケーターのオン、オフを切り換えます。
オフに設定すると、消灯し、オンに設定すると点灯します。

リセット

工場出荷時の設定にすべて戻します。
すぐにリセットするには、◀,▶ ボタンを押します。(「言語」は除く)

注意

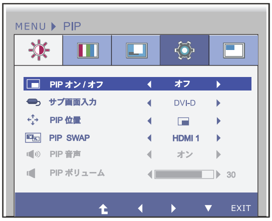
■ この操作でスクリーンの画像の状態が改善しないときは、工場出荷時の初期設定に戻してください。必要に応じて、ホワイトバランス機能を再度実行してください。入力信号がアナログであるときのみ、この機能が有効になります。

メインメニュー	サブメニュー	説　明

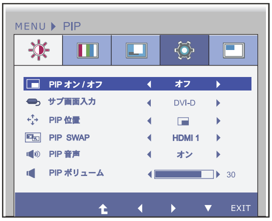


PIP

D-SUB/DVI-D 入力



HDMI 入力



- ⮅ ：前のメニューへ移動
- ◀ ：減少
- ▶ ：増加
- ▼ ：他のサブメニュー選択
- **EXIT**：終了

PIPオン / オフ　PIPをオンまたはオフにします。

*RGB（Dサブアナログ信号）モードの HDMI入力のみをサポートします。

*使用できるメイン画面とサブ画面（PIP)の組み合わせは下記の通りです：

メイン画面 / サブ画面（PIP）	D-SUB	DVI-D	HDMI 1	HDMI 2
D-SUB	-	O	O	O
DVI-D	O	-	O	O
HDMI 1	O	O	-	X
HDMI 2	O	O	X	-

サブ画面入力　PIP入力を選択します。

PIP 位置　PIP画面の場所を選択します。▲ボタンをタッチするごとに、①,②,③,④と変化します。▼ボタンをタッチするごとに、①,④,③,②と変化します。このメニューでお好きなPIP画面の場所を選択することができます。

①  ：左上

②  ：左下

③  ：右下

④  ：右上

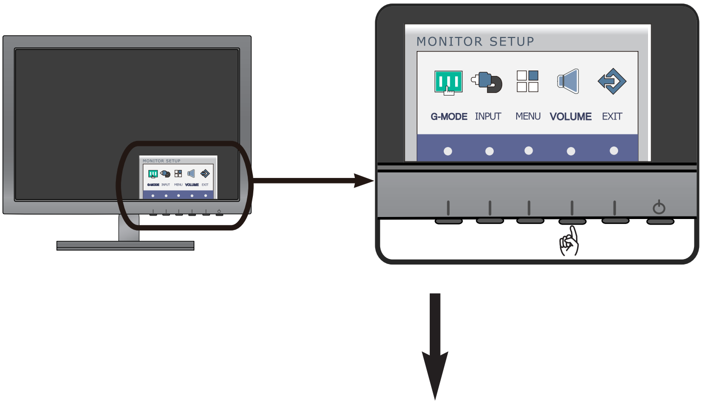
*PIPがオンのときのみ動作します。

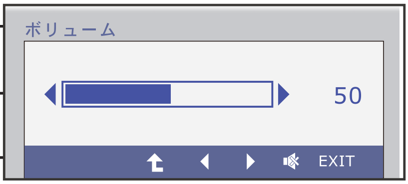
PIP SWAP　メイン画面とサブ画面を切り替えて表示します。

PIP 音声　PIPサウンドのオンまたはオフを行います。（HDMI入力のみ）

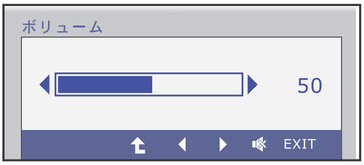
PIP ボリューム　PIPサウンドの音量を調整します。(HDMI入力のみ)

■■■ モニター画面**VOLUME**[ボリューム]ボタンを押すとOSD画面が表示されます。





- ⮥ ：前のメニューへ移動
- ◀ ：減少
- ▶ ：増加
- 🔇 ：他のサブメニュー選択
- **EXIT**：終了

メインメニュー	サブメニュー	説　明
HDMI 入力 	**ボリューム**	ヘッドホン/イヤホンのボリュームを調整します。(HDMI入力のみ)

サービスセンターに連絡する前に、次のことを確認してください。

画像が表示されない。

● ディスプレイの電源コードが接続されていますか。	• 電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうか確認してください。
● 電源インジケーターが点灯していますか。	• 電源ボタンを押してください。
● 電源インジケーターが点灯していますか。	• ディスプレイが節電モードになっている場合は、マウスを動かすか、またはキーボードのいずれかのキーを押して画面を起動してください。 • コンピューターの電源をオンにしてください。
● 画面に“範囲超過”というメッセージが表示されていませんか。	• このメッセージは、コンピューター(ビデオカード)からの信号がディスプレイの水平または垂直の周波数レンジを超えた場合に表示されます。本取扱説明書の「仕様」(32～34ページ)を参照し、ディスプレイを設定し直してください。
● 画面に“チェックシグナルケーブル”と表示されていませんか。	• このメッセージは、コンピューターとディスプレイ間の信号ケーブルが接続されていない場合に表示されます。信号ケーブルが正しく接続されているかを確認して、もう一度試してください。

画面に“OSDロック”というメッセージが表示される。

● MENUボタンを押すと、“OSDロック”というメッセージが表示されますか。	• OSDロック”がかかっているときは現在のコントロールの設定を不注意に変更してしまうことがありません。 MENUボタンを数秒間押し続けるとOSDコントロールがアンロックされ、“ロック解除”というメッセージが表示されます。

表示画像が正しくない。（1）	
● 画像の表示位置が正しくない。	・AUTOボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。
● 画面のバックグラウンドに垂直バーや垂直ストライプが表示される。	・AUTOボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。
● 画像や文字中に現れる水平ノイズが鮮明に表示されない。	・AUTOボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。 ・コントロールパネル → 画面 → 設定でディスプレイが推奨されている解像度に設定され、画面が適切に表示されていることを確認してください。色の設定は、24ビット(True Color)以上にしてください。

重要

■ コントロールパネル → 画面 → 設定で周波数と解像度が変更されていないか確認してください。変更されている場合、ビデオカードを推奨されている解像度に設定し直してください。

■ 推奨されている解像度(最適な解像度)が選択されていないと、画面や文字がぼやけたり、画面がちらついたり、歪んだりすることがあります。推奨されている解像度が選択されていることを確認してください。

■ 設定方法は、コンピューターやOS(オペレーティングシステム)によって異なることがあります。また、推奨解像度はビデオカードによってはサポートされていないことがあります。このような場合は、コンピューターまたはビデオカードの製造元にお問い合わせください。

表示画像が正しくない。(2)

● 画面の色が白黒または正常ではない。	・信号ケーブルが正しく接続され、しっかりとねじで固定されているかどうか確認してください。 ・ビデオカードがスロットに正しく装着されているか確認してください。 ・画面の設定で、色を24ビット(True Color)以上に設定してください。
● 画面が点滅する。	・画面がインターレースモードに設定されているかどうか確認してください。その場合、推奨されている解像度に設定し直してください。

"ディスプレイを認識できません。Plug&Play (VESA DDC) モニターが検出されました"というメッセージが表示されていませんか。

● ディスプレイのドライバをインストールしていますか。	・付属のディスプレイドライバCD(またはフロッピーディスク)からディスプレイのドライバをインストールしてください。 またWebサイト http://www.lg.com からドライバをダウンロードすることもできます。 ・ビデオカードがプラグ＆プレイ機能をサポートしているか確認してください。

音声機能が動作しない

● 映像は正常だが音が出ない。	・音量が「0」になっていないか確認してください。 ・音声がミュートになっていないか確認してください。 ・HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・ヘッドホンケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・音声形式を確認してください。圧縮形式の音声でないことを確認してください。

ディスプレイ	58.42 cm (23 インチ) フラットパネルアクティブマトリックス－TFT LCD Anti-glareコーティング 表示可能対角線サイズ：58.42 cm 0.2652 mm x 0.2652 mm (ドットピッチ)
同期信号入力	水平周波数　30 kHz - 83 kHz HDMI: 30 kHz - 83 kHz 垂直周波数　アナログ,デジタル: 56 Hz - 75 Hz HDMI: 56 Hz - 61 Hz 入力形態　セパレート同期, デジタル
ビデオ入力	信号入力　15ピンD－Subコネクタ DVI-D コネクタ (デジタル) 19ピンHDMIコネクタ 入力形態　アナログ (0.7 Vp-p/ 75 オーム)、デジタル、HDMI
解像度	MAX　VESA 1920 × 1080 @ 60 Hz 推奨　VESA 1920 × 1080 @ 60 Hz
プラグ＆プレイ	DDC 2B(アナログ,デジタル,HDMI)
消費電力	オンモード　:　39 W (標準値) スリープモード　≦　1 W オフモード　≦　0.5 W
外形寸法	スタンドを含む：幅 55.62 cm (21.90 インチ)、高さ 41.27 cm (16.25 インチ)、奥行 17.78 cm (7 インチ) スタンドを含まず：幅 55.62 cm (21.90 インチ)、高さ 34.51 cm (13.59 インチ)、奥行 6.04 cm (2.38 インチ) 質量　4.4 kg (9.70 ポンド)
動作範囲	傾斜角度　-5 度 - 18 度
入力電源	AC 100 V～ 50/60 Hz 0.7 A
環境条件	作業条件 温度　10 ℃ - 35 ℃ 湿度　10 % - 80 % (無結露) 保管条件 温度　-20 ℃ - 60 ℃ 湿度　5 % - 90 % (無結露)
スタンド・ベース	独立
電源コード	壁コンセントタイプ

注意

■ 本ユーザーズガイドの情報は、予告なしに変更することがあります。

ディスプレイ	68.6 cm (27 インチ) フラットパネルアクティブマトリックス－TFT LCD Anti-glareコーティング 表示可能対角線サイズ：68.6 cm 0.3114 mm x 0.3114 mm (ドットピッチ)	
同期信号入力	水平周波数	30 kHz - 83 kHz HDMI: 30 kHz - 83 kHz
	垂直周波数	アナログ,デジタル: 56 Hz - 75 Hz HDMI: 56 Hz - 61 Hz
	入力形態	セパレート同期, デジタル
ビデオ入力	信号入力	15ピンD－Subコネクタ DVI-D コネクタ (デジタル) 19ピンHDMIコネクタ
	入力形態	アナログ (0.7 Vp-p/ 75 オーム)、デジタル、HDMI
解像度	MAX	VESA 1920 × 1080 @ 60 Hz
	推奨	VESA 1920 × 1080 @ 60 Hz
プラグ＆プレイ	DDC 2B(アナログ,デジタル,HDMI)	
消費電力	オンモード	: 41 W (標準値)
	スリープモード	≦ 1 W
	オフモード	≦ 0.5 W
外形寸法		スタンドを含む / スタンドを含まず
	幅	65.46 cm (25.77 インチ) / 65.46 cm (25.77 インチ)
	高さ	48.85 cm (19.23 インチ) / 40.45 cm (15.93 インチ)
	奥行	23.08 cm (9.09 インチ) / 6.04 cm (2.38 インチ)
	質量	5.6 kg (12.35 ポンド)
動作範囲	傾斜角度	-5 度 - 18 度
入力電源	AC 100 V~ 50/60 Hz 0.7 A	
環境条件	作業条件	
	温度	10 ℃ - 35 ℃
	湿度	10 % - 80 % (無結露)
	保管条件	
	温度	-20 ℃ - 60 ℃
	湿度	5 % - 90 % (無結露)
スタンド・ベース	独立	
電源コード	壁コンセントタイプ	

注意

■ 本ユーザーズガイドの情報は、予告なしに変更することがあります。

ＰＣ入力プリセットモード（解像度）
-D-SUB/DVI-D タイミング

ディスプレイモード（解像度）		水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640 x 350	31.469	70
2	720 x 400	31.468	70
3	640 x 480	31.469	60
4	640 x 480	37.500	75
5	800 x 600	37.879	60
6	800 x 600	46.875	75
7	1024 x 768	48.363	60
8	1024 x 768	60.123	75
9	1152 x 864	67.500	75
10	1280 x 1024	63.981	60
11	1280 x 1024	79.976	75
12	1680 x 1050	64.674	60
13	1680 x 1050	65.290	60
*14	1920 x 1080	67.500	60

* 推奨モード

HDMIタイミング

ディスプレイモード（解像度）		水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	480P	31.50	60
2	576P	31.25	50
3	720P	37.50	50
4	720P	45.00	60
5	1080i	28.12	50
6	1080i	33.75	60
7	1080P	56.25	50
8	1080P	67.50	60

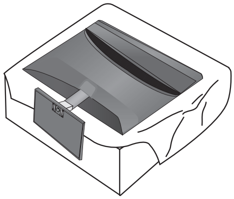
インジケーター

モード	ＬＥＤ色
オンモード	赤
スリープモード	赤色点滅
オフモード	オフ

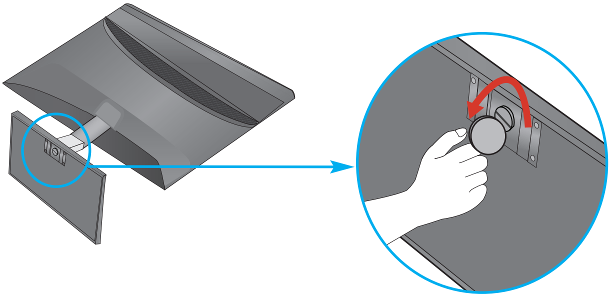
壁面取付プレートの設置

本製品は、 壁面取付プレートまたは交換デバイスの仕様に対応しています。

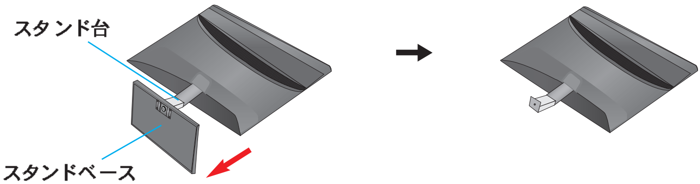
1. ディスプレイの前面をクッションなどの柔らかい布の上に載せます。



2. スタンドベースをスタンドボディから取り外すには、硬貨などを使ってネジを反時計回りに回します。

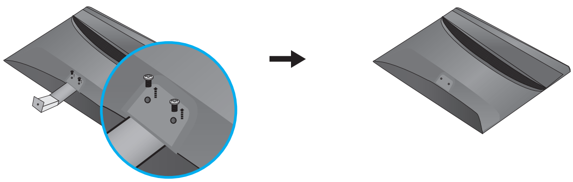


3. スタンドベースの向きをチェックし、下図の方向にスタンドベースから引きます。

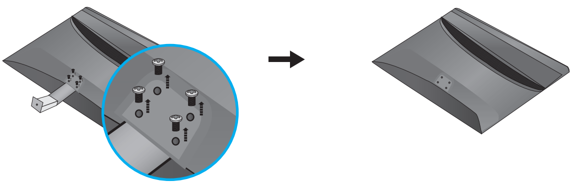


4. モニター後部のネジを緩め、モニターからスタンドボディを外します。

(E2370V)



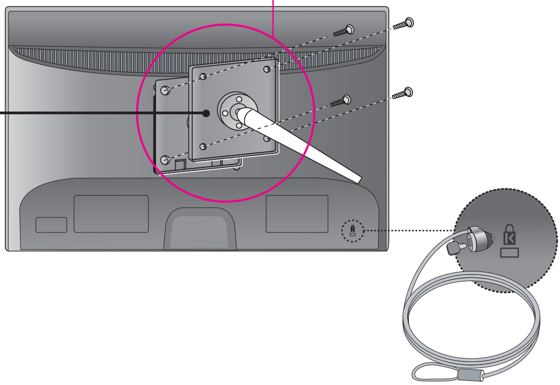
(E2770V)



5. 壁面取付プレートを設置します。

壁面取付プレート(別売)

スタンドタイプまたは壁面取付タイププレートです。詳細については、ご購入の壁面取付プレートに付属されているインストールガイドを参照してください。



<ネジマウントインターフェースの寸法>

穴の間隔 : 100 ミリ x 100 ミリ **(E2370V)**
200 ミリ x 100 ミリ **(E2770V)**

Kensington セキュリティスロット

別売りのロックケーブルを接続できます。

「安全に関する注意」をお読みの後、本製品をご使用ください。
後で参照できるよう、「ユーザズガイド(CD)」はお手元に保管しておいてください。
モデル番号とシリアル番号が装置の背面と側面に記されています。サービスご依頼時に必要となることがあるため、この番号を下記に記録しておいてください。

モデル ____________________

シリアル ____________________

ENERGY STAR is a set of power-saving guidelines issued by the U.S. Environmental Protection Agency(EPA).

As an ENERGY STAR Partner LGE U. S. A.,Inc. has determined that this product meets the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.